

## 推進に係る計画

1 学校概要	<p>①学級数 17学級          ②生徒数 502人          ③教職員数 31人          ④学校経営計画における推進校の取組の位置付け等</p> <p>豊かな人間性の育成、学力の向上の2つの重点において、キャリア教育及び特別支援教育の視点から教育活動の推進する中で、プログラミング教育を取り入れて教育活動の充実を図り教育目標の達成を目指す。また、地域に生きる学校として、地域人材の活用などによりプログラミング教育を推進する。</p>
2 推進計画の概要	<p>①これまでの取組          平成29年度中野区ICT教育研修会のモデル校として授業発表を実施</p> <p>②推進校としての2年計画の概要</p> <p>1年次 ・プログラミング教育・授業における活用の可能性の理解          ・年間指導計画の作成          ・授業研究、公開授業          ・実践報告会 など</p> <p>2年次 ・実践の拡大          ・年間指導計画の改善          ・授業研究、公開授業          ・研究報告会          ・指導事例の作成 など</p> <p>③研究の組織及び体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌の研究推進チームが中心となって推進</li> <li>・ICT教育担当教員が中心となって区小学校教育研究会情報教育研究部員と連携して推進</li> <li>・低、中、高、専科の4分科会とし、それぞれが研究授業を行う</li> </ul>
3 PCを用いない実践	<p>(1) 紙と鉛筆・色鉛筆を使った実践（図形描写・イラストロジックなど）          (2) 言葉や身体を使った実践（言葉の指令による宝探し・図形描写など）          (3) 上皿てんびんを活用した実践（2進法とパソコン・二進法の良さなど）          (4) 指令記号を使った実践（指令記号と図形等の一致探しなど）          (5) 各教科等における実践</p>
4 PCに意図した処理を行わせる実践	<p>(1) 簡単なプログラミングの体験          (2) 各教科等における実践          (3) 民間企業等の体験学習</p>
5 教科等の学習内容に即した実践	<p>(1) 算数 手順（計算・図形作成）・四則混合計算・組み合わせなど          (2) 理科 電気製品と動作プログラムなど          (3) 音楽 曲づくり・演奏（楽譜・様々な楽器・ハンドベル演奏）など          (4) 図画工作 立体工作（ビー玉転がし等）・平面作品（重ね塗り）など          (5) 体育 体ほぐしの運動・器械運動（マット運動・跳び箱など）など          (6) 総合的な学習の時間 暮らしとプログラミングの関係など</p>
6 発達段階に即した実践	<p>(1) 低学年 アンプラグドコンピュータサイエンスを中心に実践          学校の中でのプログラム活用探し など</p> <p>(2) 中学年 簡単なプログラミングソフトを使用した実践          地域の中でのプログラム活用探し など</p> <p>(3) 高学年 各教科等でのプログラミングを活用した学習          生活・暮らしの中でのプログラム活用探し など</p> <p>以上を基本としてそれぞれ学校行事や遊び、各教科等においてプログラミング的思考を育成する。</p>
7 教員の指導力向上に向けた取組	<p>(1) 研修          ①プログラミング教育に関する知識・情報の習得（何を知るか）          ②講師による実践事例（何ができるか）と指導計画作成（どうするか・どう活用するか）</p> <p>(2) 授業研究          (3) 環境整備とICT活用指導力の向上</p>
8 より発展的な取組	<p>(1) 小中連携教育に基づいた小中各段階での取組の検討          (2) 民間企業等による出前授業・体験学習の実施          (3) 児童の関心に基づいたプログラミングに関する研修・作品作りの支援</p>

